

2019年 4月 1日

助成事業実施報告書

団体名 東大和市レクリエーション協会

代表者・役職名 氏名 会長 飯坂 徳雄

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないもの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

無料学習塾「賢治の家」

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2006年東大和市社会教育課主催のプレイリーダー養成講習会受講者でレク研究会を結成、1年後日本レク協会の公認指導者資格受領後東大和市レクリエーション協会を設立した。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

本協会は遊びとレクリエーションで市民社会の活性化を目的としています。ただし現在の子どもの状況から学習支援や居場所支援とリンクしながら進めようとしています。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

経済的な理由で商業的な塾に通えない小学生、中学生対象の学習塾です。教科は小学生で全科、中学生は英語と数学です。定員は全体で30名です。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

【年間当たりの実施回数】

中学生月曜コース 年間 93回 9名～15名の参加 都立入試コース 12回 毎回 11名の参加

小学生金曜コース 47回 毎回 6名～8名の参加

【成果】定期テスト対策でほぼ全員に成績の向上がみられた。中学3年生6名全員志望高校合格

【社会的な変化】市役所発行の子育て支援マニュアルの中で取り上げられている。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

ほとんどの生徒は学習意欲があり通塾するが特定の子どもで学習意欲を示さないでいるものがいる。通塾の捉え方がこの家庭とでは離れており理解を求める。年間100回にも及ぶと交通費の負担が重荷になってしまっている。先生方の交通費負担は主催者として支払うべきものと考えるので次年度以降の課題とする。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料としてかね

参考資料あり • 特になし

提供してください。

無料学習塾「賢治の家」写真報告



入塾説明会と
普段の学習状況(中学生)

小学校は算数・国語を中心に一斉授業をしていますが中学生は個別学習です。学校の宿題から定期考査の予想問題まで子供の状況に合わせて学習させます。



年間の行事でクリスマス会やお別れ会を実施しています。